

平成 16 年 10 月 26 日

B 地区におけるボーリング調査結果について（案）

1．B 地区における追加ボーリング調査の根拠

地下水分析の結果、B 地区の中心に近いボーリング No.170 の深さ 15m において B 地区最大の 0.45ppm が検出されており周辺に向かって濃度が薄くなる傾向があったことや、同井戸において埋土層（層圧 5 m 程度）付近の深さ 10m から 0.37ppm が検出されていたことなどから、同井戸の周辺 6 カ所において、深さ 15m 程度のコアボーリングを行い、地下水中及び土壌中のジフェニルアルシン酸の分析を行った。

2．ボーリング調査結果

追加した 6 カ所 (No.187 ~ 192) すべての地下水及び土壌からジフェニルアルシン酸は検出されなかった。

なお、8 月に実施した地下水モニタリング結果によれば、B 地区の中心付近では総じて濃度が低下する傾向がある一方で、B 地区の東側と西側では濃度が上昇している傾向があり、地下水汚染の位置が変動している可能性が認められる。

3．今後の調査方針

B 地区においては、引き続き、地下水モニタリングを実施して地下水汚染の状況を把握するとともに、モニタリング結果を時系列的に解析することで汚染の移動状況を把握しつつ、引き続き汚染源の特定に向けた調査を継続することとする。